

クローバーの『時×空』投資 Time×Space

クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2022年7月29日基準

★考えるな、感じる！

人類とその他の生物との違いは何でしょうか。その一つが、生物が生きるために必要としている「食べる」と「身を守る」との苦難から解放されたことでしょう。それだけでなく、人類は、快適な気温や湿度を維持できる人工的な「空間」や、季節や自然の営みからかけ離れ、時計を軸とした人工的な「時間」の概念の中で生活するようになりました。また、近年は、簡単に食べることのできる調理済みの加工食品が一般化されたり、さらに、急速に普及したインターネットにより、非現実的なサイバー空間まで創造されたりするに至り、ますます自然から隔離された生活が日常化しつつあります。



このように、人類は人工的な環境で便利で快適かつ安全な生活を手に入れる一方で、次第に失いつつあるものがあります。それが、本来生物が自然環境の中

で「食べる」と「身を守る」に格闘するなかで獲得し、維持発達させてきた「生きる力」と、その前提としての「感じる力」だと思えます。気が付けば、いろいろな情報の洪水におぼれながら、利己的に何が得かを「考えて」ばかりいる生活に驚かされます。「Don't think, feel!」(考えるな、感じる！)はあのブルース・リーが映画「燃えよドラゴン」で言ったセリフとして有名ですが、当時と比べてもさらに自然を感じない中で生活している我々にとって、より重要性が増している言葉だと思います。

金融の世界でも、本当に数多くの投資家が様々な法則性を過去の相場から「考え」出し、未来の相場を予測しようと日々努力しています。確かに、春夏秋冬が毎年繰り返されるように、ある一定のサイクルが存在するのは事実でしょう。しかし、同じように再び春が訪れても、一年前とはあらゆる条件が異なっており、二度と同じ環境が再現されるわけではありません。いくら秀才でも、またAIを駆使したとしても、個々の自然や社会の全ての変数を処理し、未来を完全に予測することは不可能なのです。

そんな時に大事なのが「感じる力」だと思えます。「大脳」だけでなく、世の中を観察し、声なき声に耳を傾け、鼻を利かせ、肌で空気を感ずる等々、体全体で「感じる」こと…あまりにも様々な情報が溢れる今だからこそ、個々の情報に惑わされることなく、全体を「感じる」ことが大事なのだと思います。

「確かにそうだよ」と思われた皆さんに是非お読みいただきたい本があります。レイチェル・カーソンさんの名著「センス・オブ・ワンダー」(日本語版 上遠 恵子翻訳 新潮社)です。夏休みのひと時、子供たちと自然の中で過ごす大切さ、豊かさが表現されています。「暑い、暑い」夏も、自然と近づぐかけがえのない機会に思えて来ます。写真とわずかなページですので、本はちょっと苦手という方でも問題ありません。

追伸、さらに本を読んで自然が恋しくなった方には、この夏おススメなのが「ペルセウス座流星群」です。今年は8月12日、13日が見ごろのようです。新型コロナの自粛生活やあまりの暑さに、せつかくの夏も出かけない日々が続きますが、夏の思い出作りに、「ご家族で自然の中で夜空を眺めてみませんか? 伊豆のたねころも山でも観察会を開催しますので、ご希望の方はご連絡下さい。



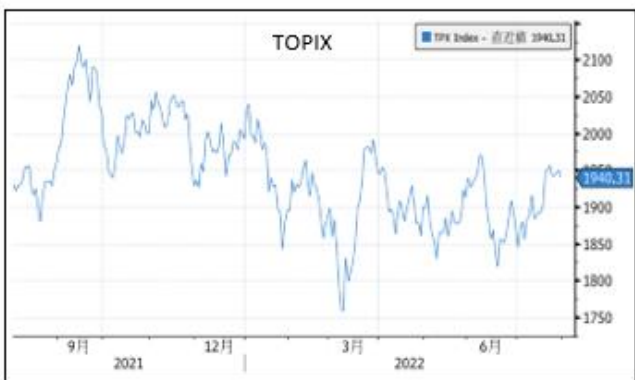
多根幹雄



マーケット・ストラテジー

7月の世界株式指数は6%の上昇と、金融市場は堅調でした。債券市場も上昇し、米10年国債利回りは2.7%を下回る水準まで下落しました。

主要国で発表された経済指標が市場予想を下回り景気減速を示したことで、投資家は今後金融引き締め政策の勢いが緩和されることを期待しています。例えば中国の第2四半期GDPは前年比0.4%と事前予想を下回る結果になりました。米国でも第2四半期GDPが前期比年率△0.9%と予想を下回る結果となったことに加え、2四半期連続のマイナス成長となったことで、米国は金融市場で言われるところの“リセッション入り”したことになります。こうした状況であるにもかかわらず、FRBは0.75%利上げに踏み切り、ECBも0.5%の利上げとそれに伴うマイ



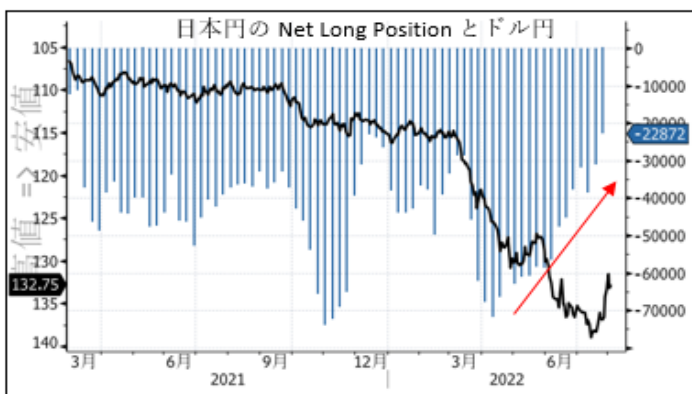
Source: Bloomberg

ナス金利政策の解除を決めました。足元の市場反転は、弱い経済指標とタカ派的な金融政策との組み合わせによる結果といえます。(ただし、日銀だけは他国の利上げをよそに金融緩和政策を維持しました。) 株価が反発したことから判断するに、市場参加者は今がインフレのピークであ

り、主要国の金融当局が景気後退リスクや更には不況の長期化をより深刻にとらえるようになることを期待しているようです。

為替市場では、ドルが7月を通して継続的に上昇し直近高値を更新しましたが、月末になってようやく下落に転じました。非常に多くの投資家がドル買いのポジションを積み上げていたため、このような場合、どこかの時点で反転することは心しておくべきでしょう。実際にキャリートレードや実需のドル買いによって円が売られていた反動で、円の買戻しの動きが一気に広がりました。

エネルギー価格は、ノルドストリーム1の稼働率やOPECプラスの原油の追加増産量へと関心が移ってきており、状況次第では価格が一段と上昇する可能性があります。燃料高はさらなるインフレ高進を招くため市場の懸念材料となります。加えて、



Source: Bloomberg

今後数カ月は米国の住宅価格及び賃料がCPIに及ぼす影響についても注意する必要があります。特に同価格がCPIに与える影響は大きく、賃貸物件の空室率が40年ぶりの低水準に近づく一方で賃料は依然高止まりしている状況にあつては、住宅市場の動向をより注

意深く見守る必要があります。

多くの市場参加者が指摘する通り、最近の株価上昇はあくまで「ベアマーケット・ラリー」(弱気相場における一時的な株高)にすぎず、好材料が出尽くした後は再度下落に転じる可能性があります。



Source: Bloomberg

インフレの再加速が割と早く戻ってくる可能性に加えて、市場の閑散期である夏が終わって投資家が戻ってくるタイミングで金融市場が再び下落基調に戻る可能性も考えられます。そうなれば株式や債券関連商品のなかでもよりリスクの高い資産への投資を増やす良いタイミングとなるでしょう。

樋口恭信



★「奥出雲多根自然博物館

クローバーとの出会い」

皆様、初めまして、伯井誠典と申します。正直に告白しますと月次レポートは今回初めて読みました。皆様の味のある文章を読んで安請け合いを後悔しておりますが若輩者の拙文にお付き合います。

私とクローバーの出会いには奥出雲多根自然博物館です。長男の将来の夢は恐竜博士。ポロポロになるまで読み込まれた恐竜図鑑の「恐竜に会える博物館」コーナーに、「めずらしい泊まれる博物館」との紹介。夏休みの家族旅行先が奥出雲に決まりました。

「砂の器」の舞台である亀嵩の近く、JR木次線はスイッチバックで中国山地を越えるという僻地ですが、美味しい仁多米、出雲そば、温泉、たたら製鉄の遺構、何とも心に残る風土です。博物館には恐竜の全身骨格等が展示されており、懐中電灯を持ってナイトミュージアムを探検出来ませす。最上階のレストランは地元のおばちゃんが入り込んで良き雰囲気でした。

博物館の中でも私たち家族のお気に入りの場所が、写真にもあげた図書室です。ゆったりとしたソファが置かれ、自然科学系や出雲関係の本が豊富で日常読まないような本をゆっくりと読むことが出来ます。子供が恐竜の本を読んでいる間、私の目に入った赤い本。

「スイス人が教えてくれたがらくたではなくヴィンテージになれる生き方」。この図書室に置かれていることに違和感を覚え手が伸びました。そ

の内容に衝撃を受けたとか、目から鱗が落ちたとかいう感覚では無かったと記憶しています。大阪に帰ってから、博物館も貴重なコレクションを創業者の地元に戻元し雇用や活力を生み出すものだとなり、その振る舞いと本の内容が重なり説得力をもって、私の中にしっくりと馴染んできた感覚でした。

私が多根さんの著作に共感した点をあげると、「ホンモノの運用」は儲けるためではなく「お金から自由になる」ためのものである、スイスではファンドを親子代々引き継いで保有している等の長期的な時間軸、欧州的な価値観です。その価値観の合致を確認する貴重な機会がセミナーだと感じています。

将来、奥出雲で出会った多根さんのファンドだよと言って子供に引き継ぎたい。その日までクローバーや仲間の皆様とご縁を頂き、時間を重ねて行きたいと思えます。よろしくお願いいたします。

伯井 誠典



伯井様、原稿ありがとうございました。こちらこそ、いい出会いに感謝です。まさに長期投資を目指すいいお話ですが、お写真もフィルムカメラで撮ってプリントされたものを、さらにデジタルカメラで撮ってデータでお送りいただいたので、心配されていましたが、むしろ年月を経たような風格が出ていますね。

将来、お子様たちにコドモファンドを引き継がれる時のことが、目に浮かびます。

磯野 昌彦

7月のマーケット概要

米国株式市場は、7月8日発表の好調な雇用統計と13日発表の6月の消費者物価指数が40年ぶりの前年同月比+9.1%だったことで1.0%の利上げも視野に入り、調整しましたが、長期金利の下落、目先の原油価格の下落でインフレ懸念が和らぎ、値を戻しました。結局7月27日に発表された利上げは、予定通り+0.75%、パウエル議長の「引き上げペースを緩めることが適切となる可能性が高い」とのコメントもあり、月末にかけて大きく上昇しました。

日本株式市場も、消費者物価指数の大幅な上昇もありましたが月初からは不安定な状況が続き、安倍元首相の銃撃事件で異様な雰囲気幕を閉じた参議院選挙も自民圧勝で終わり、米国の好調もあって月末にかけて上昇しました。

コドモファンド

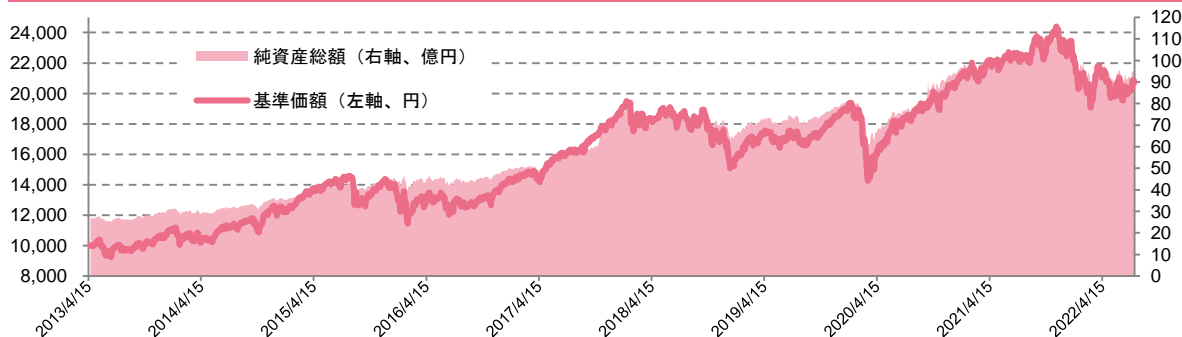
変幻自在ずーっとおまかせ

【7月の運用コメント】

中旬に、ユーロの下落を想定し、ヴァレンセレクション（ユーロ建て）の持ち分をすべてヴァレンセレクション（円建て）に移しました。

こうした中、アトランティスとヴァレンS(円建て)が大きく貢献し、基準価額は、前月比+2.18%と、まずまずの成績となりました。8月も緊張の相場が続きますが、大きな下落時には積極的に投資していきたいと思っています。

基準価額と純資産総額の推移



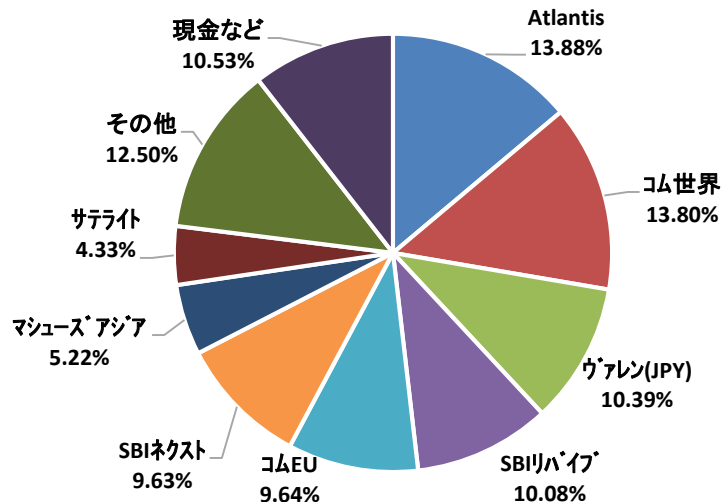
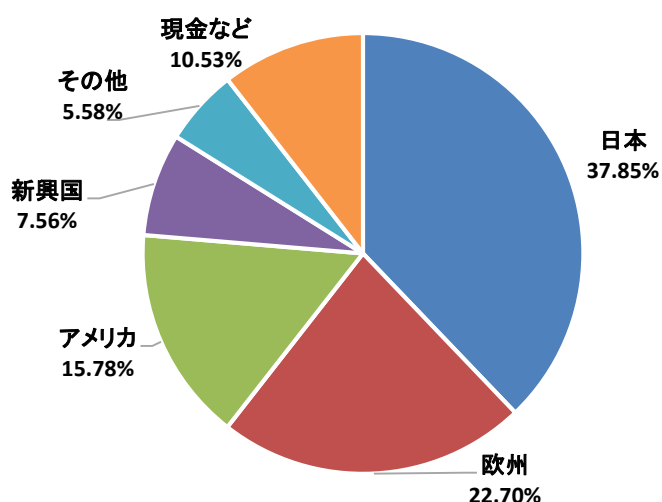
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

Atlantis	4.52%
コムジェスト 世界株式	4.69%
ヴァレン(JPY)	5.76%
SBI リバイブ	2.19%
コムジェスト ヨーロッパ	5.20%

コドモファンド概況

基準価額	20,802円	信託期間	無期限
純資産総額	9,495百万円	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
設定日	2013年4月15日		

資産構成比率(組入ファンド全15本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.18%	0.19%	2.15%	-7.08%	18.92%	108.02%
				(複利年率)	(複利年率)
				(5.95%)	(8.20%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

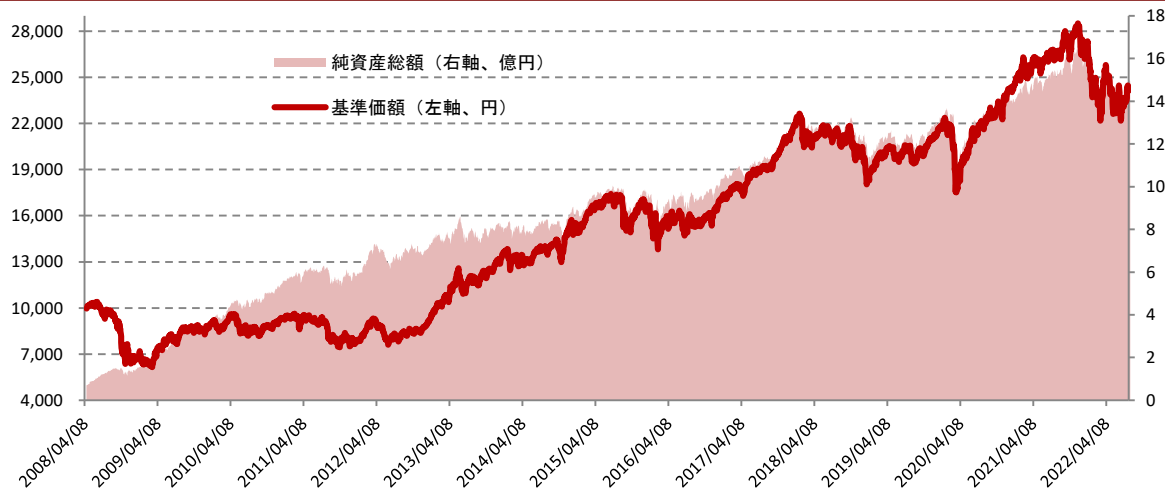
浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【7月の運用コメント】

カーディフ・ジャパンα、コムジェスト世界株式が大きく貢献し、基準価額は、前月比+3.89%と、まずまずの成績となりました。8月も緊張の相場が続きますが、大きな下落時には積極的に投資していきたいと思っています。

基準価額と純資産総額の推移



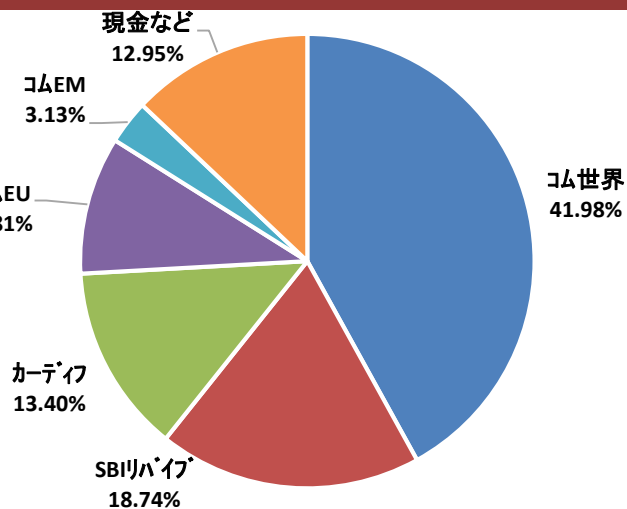
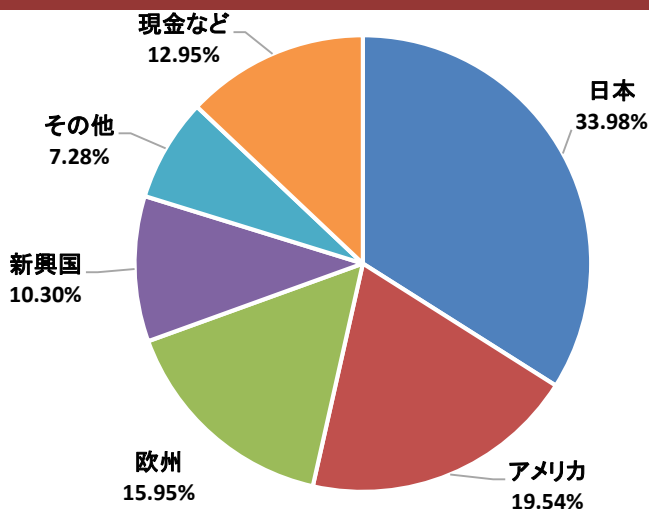
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

コムジェスト世界株式	4.69%
SBIリバイブ	2.19%
カーディフ	9.35%
コムジェストヨーロッパ	5.20%
コムジェストエマージング	-0.17%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	24,359円	信託期間	無期限
純資産総額	1,494百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全5本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1か月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
3.89%	2.00%	2.32%	-7.66%	18.45%	143.59%
				(複利年率)	(複利年率)
				(5.81%)	(6.42%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率0.99%(税抜き0.9%)

組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

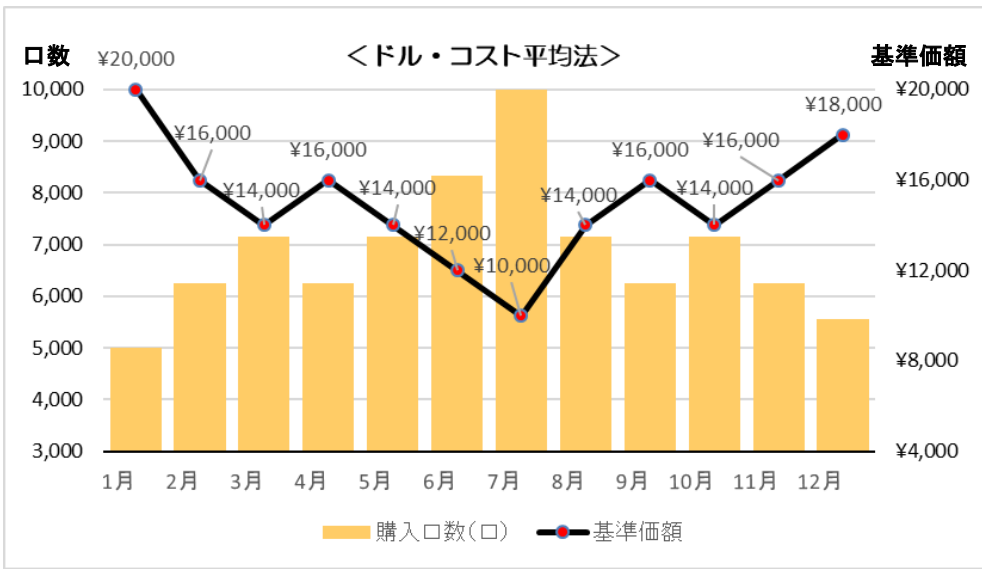
設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

☆クローバー勉強会

☆ドル・コスト平均法について

ドル・コスト平均法とは、投資信託の基準価額がどんな値動きをしていても一定の金額を定期的に買い付けていく投資方法です。具体的はこの投資方法にどのようなメリットがあるのか、左のグラフを用いてご説明させていただきます。



○投資元本:12万円 ○総購入口数:82,460口 ○評価額:14万8,428円

このグラフは1年間、毎月1万円を投資、積立した結果を表したグラフです。

このグラフから読み取れる事実を整理すると
・投資元本(投資総額)は12万円「1万円×12か月」
・2万円だった基準価額は1年後には18,000円に下落

基準価額が下落しているのに1年後には投資した12万円は減っていると想像される方も多いと思います。しかし、結果は増えているのです。
120,000円↓148,428円

その理由は基準価額が下がったところでも一定の額を投資(購入)し続けたからです。

普段の買い物に例えると、毎月定期的に買っている商品の値段が安くなると、その分お得に買い物ができますよね。その「お得」の積み重ねがこのような結果になるのです。上のグラフで考えると、黄色い棒線グラフが高く伸びている。同じ投資金額でたくさんのお金を購入することができている、ということなのです。

しかし買い物とは違い、基準価額が下がると投資した資産もその瞬間は下がり、不安な気持ちになるかと思えます。ですが、ドルコスト平均法の仕組みを理解し、「今は安く(お得に)買えているんだ」という意識をしていただくことで、長い目でみれば今はチャンスなのだと捉えていただけるのではないかと思います。

※当グラフはドル・コスト平均法の説明のため「1年間」という期間で仮定しましたが、長期であればあるほど効果を上げることができます。

★最後に

ファンドの基準価額が大幅に下がり、特にご自身の平均買い付け単価(取引報告書、記載の「取得単価」にあたる)を割り込んだ時は、スポット買いのチャンスです。安値で口数を増やせるわけですから、平均買い付け単価を下げることもできます。同時に、運用側の立場で言うと、ファンドに追加の運用資金が入ってくるわけですから、その資金で安くなった組み入れファンドを買うので、ファンドの運用成績も良くなるはず。時々「ファンドの運用は、お客様と二人三脚」とお話しするのはこのことです。

ただ、一番底値を狙いたいと思うのが人情ですが、これはかなり難しいことです。狙って待っている間に、上がってしまったら、買いチャンスを逃すことも多いので、下がってきたら「買い！」という意識でよろしく願います。

我々自身もクローバーのファンドの受益者です。同じ投資仲間として何でもご相談に乗りますので、お気軽にお問い合わせください。

今月号より、当ページではファンドに関する考え方を、皆様にお知らせできればと思っています。HPでさらに分かりやすく解説した動画を掲載することなども検討中です。是非、お楽しみに。

三浦 隆任

★蜂球 ほうきゅう

子供の頃から昆虫などを観察するのが好きで、今でもYouTubeなどで生物に関する動画を楽しんだりしているのですが、そのフォルムのかっこよさから「蜂」は好きな昆虫の一つです。

今回は蜂のなかでも私達にとって身近な存在であるミツバチについてご紹介いたします。

みなさまはハチミツを作る際にミツバチが利用されていることはご存知だと思いますが、実は製造されているハチミツのほとんどは「セイヨウミツバチ」という明治時代にアメリカから日本に運ばれてきた外来種のハチの力を借りて作られています。日本には「ニホンミツバチ」という在来種のミツバチ



が生息してい

ますが、ニホンミツバチはストレスに敏感で、巣箱を頻繁に開けたりするとすぐ新しい巢に引っ越してしまうことと収穫できるハチミツの量が少ないという点もあり、そのハチミツは貴重とされ高値で取引

されています。一方家畜化されたセイヨウミツバチは収穫できるハチミツの量もニホンミツバチと比べると多く、忍耐強く同じ巢に帰ってきてくれます。ハチミツを収穫するにはミツバチを野に放つ必要があり野生化が心配されますが、セイヨウミツバチは野生化しにくいといわれています。その理由はセイヨウミツバチが日本の環境に対応しきれないことと、天敵である「スズメバチ」の存在にあります。特にオオスズメバチはミツバチと比べて何倍もの大きさがあり、その毒針と強靭なアゴでミツバチの巣を襲い、数匹で1つのコロニー（群れ）を壊滅に追いやります。セイヨウミツバチはスズメバチに抗う力が弱く、養蜂家のサポートが必要なため野生として定着することが難しいと考えられています。

一方、ニホンミツバチはスズメバチに襲われた際に特殊な方法で抵抗します。数百匹で一気にスズメバチを取り囲んでボール状になり、自らの筋肉を細かく震わせ熱を発生させます。ボール状になったニホンミツバチの塊は「蜂球（ほうきゅう）」や「熱殺蜂球（ねっさつほうきゅう）」と呼ばれ、その内部の温度は46℃〜48℃に達し、さらに二酸化炭素の濃度も高くなります。スズメバチが生命を維持できる温度が45℃、ニホンミツバチは49℃程まで耐えることができるため、その僅かな差を利用しスズメバチと戦います。最近の研究ではセイヨウミツバチも「蜂球」をつくってスズメバチに対抗する場合があります。ことがわかってきましたが、自らの力では内部の温度は44℃〜45℃程までしか上がらず、スズメバチに致命的なダメージを与えることはできません。

ん。しかし、その毒針を刺しスズメバチが激しく抵抗することでスズメバチ自身が発熱し、蜂球内部の温度がさらに上昇し結果としてスズメバチを撃退します。最初は蜂球を作れなかった群れが、スズメバチと出会うことで蜂球を作れるようになり、回数を重ねるごとに内部の温度もどんどん高くなりスズメバチのいる環境に適応していくという説もあるようです。

今回ご紹介した内容については諸説ございますが、強大な困難を目の前にした時に潜在的にもっていた戦術を呼び覚まし、仲間とともに立ち向かう姿に生命の神秘を感じました。ハチミツだけでなく様々な農作物の受粉を促し、私達の生活を支えてくれるミツバチ達に感謝したいと思います。

入江孝之



最近、2歳の甥っ子の動画を兄がよく共有してくれるのですが、1か月過ぎることにできることが増えていて、新しい動画を見るたびに感動します。私も甥っ子に負けじと成長しなければならぬと感じる日々です。

「歳相応」と言い訳をせず、これからも新しいことに挑戦し続けたいと思います。

三浦隆任



“クローバー 秘 投資政策セミナー 2022.8”

2022年
8月19日(金)
18:30~20:00

ライブ配信セミナー
ネット:定員30名

樋口 恭信 (チーフ・ストラテジスト)
多根 幹雄 (代表取締役社長)
磯野 昌彦 (専務取締役)



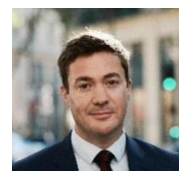
「価格ではなく価値を見出すコムジェストの投資哲学」

2022年
9月16日(金)
18:30~20:00

コムジェスト
対面&ライブ配信セミナー
対面:定員22名 <東京>
ネット:定員30名

Comgest. S.A
アナリスト兼ポートフォリオマネジャー
ザック・スメルチャク氏

コムジェスト・アセットマネジメント(株)
アナリスト兼ポートフォリオマネジャー
リチャード・ケイ氏



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

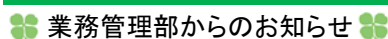
ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありませぬ。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

クローバーから大切なお知らせ



【お客様マイページご活用のお願い】

この度、お客様マイページにおきまして、「毎月つみたてサービスの金額変更・ご利用中止」が行えるようになりました。今後もマイページの機能拡充に取り組んでまいります。

◎電子交付サービスをお申込みいただいていないお客様◎
お客様マイページ機能の詳細につきましては、別紙添付の資料をご参照ください。
この機会にペーパーレス化へのご検討をさせていただきますと幸いです。

◎電子交付サービスをお申込み済みで、マイページ未登録のお客様◎
現在お取引に関する書類は紙での交付となっております。今後はマイページをご活用いただき、電子交付に切り替えていただきますようお願い申し上げます。
なお、お客様マイページは弊社ホームページよりご登録いただけます。
ご登録方法は[mypage.pdf \(clover-am.co.jp\)](https://mypage.pdf(clover-am.co.jp))をご確認ください。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、9月5日(月)
9月分金額変更・中止・再開締切日… 8月23日(火)
10月分新規・口座変更締切日… 9月1日(木)
※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間:平日9時~17時)
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp